

(参考資料)

2022年4月

日本銀行

## 補完当座預金制度における預り金利息の計算について<sup>1</sup>

(2022年4月積み期間～)

(照会先)

日本銀行業務局総務課営業・国債業務企画グループ

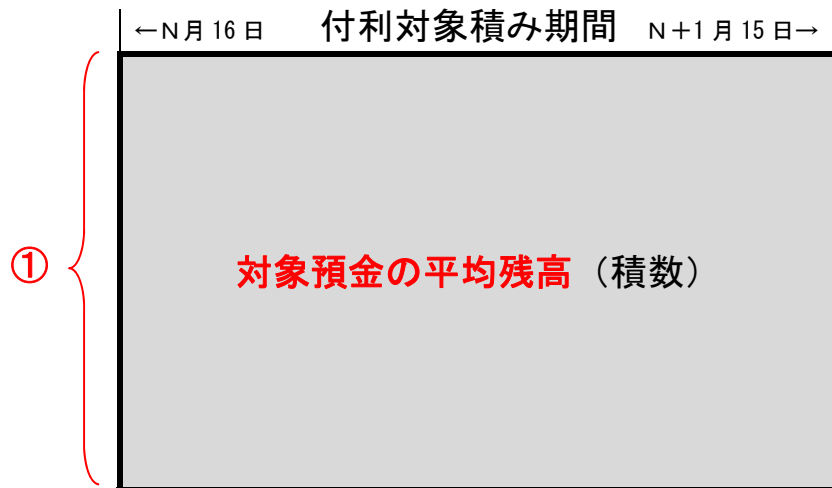
電話番号：03-3277-2843

電子メール：[post.od30@boj.or.jp](mailto:post.od30@boj.or.jp) (件名は「補完当座預金制度における預り金利息の計算」として下さい)

---

<sup>1</sup> この資料で用いる用語の定義は、[「補完当座預金制度に関する細則」](#) (以下「細則」といいます) によります。

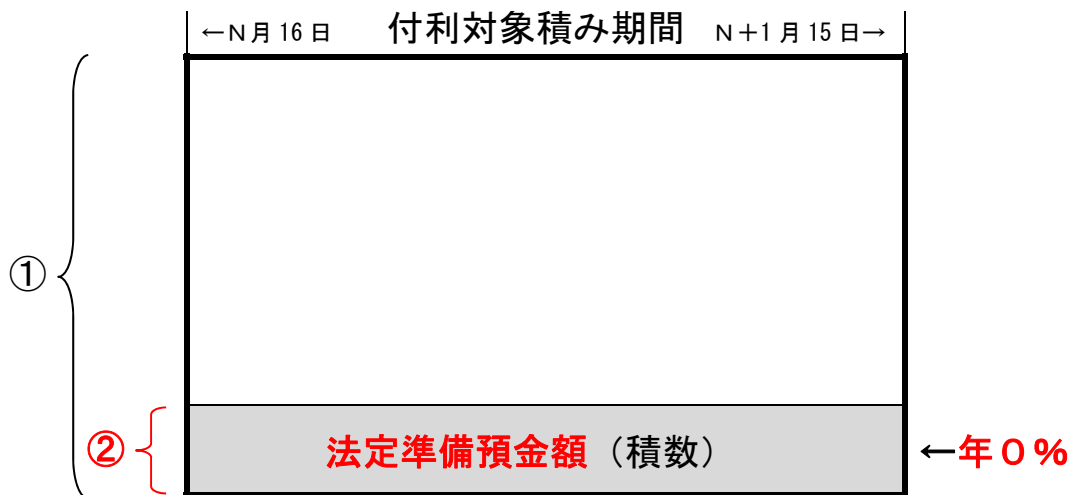
【ステップ1】「対象預金の平均残高（積数）」の算出 ⇒ ステップ2以降で利用



(算出方法)

★① = 付利対象積み期間における毎日（銀行休業日の場合には、その前営業日。以下同じ）の終業時の対象預金の残高の合計金額

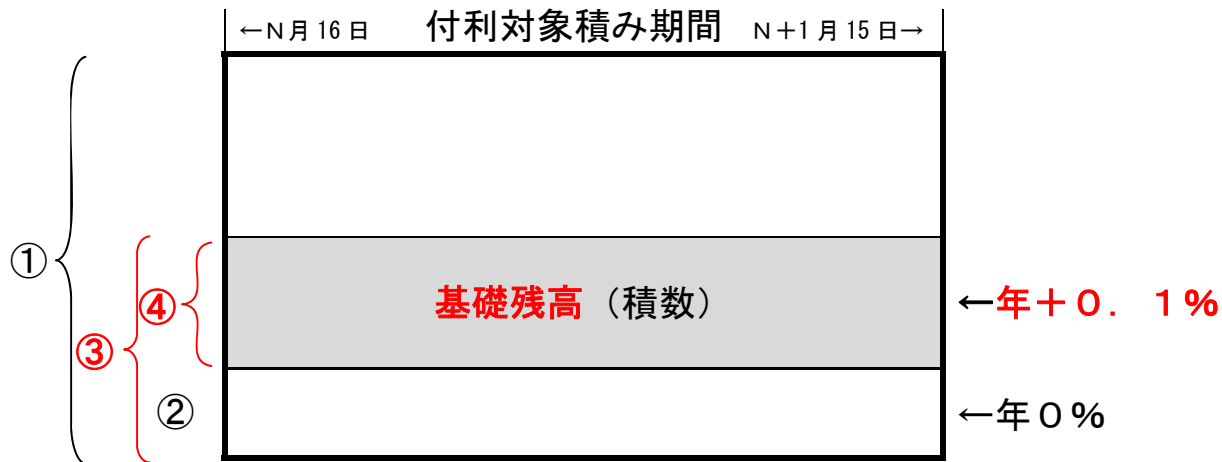
【ステップ2】「法定準備預金額（積数）」の算出（細則4.(1)) ⇒ 年0%を適用



(算出方法)

★② = 付利対象積み期間にかかる法定準備預金額 × 同期間の日数

【ステップ3】「基礎残高（積数）」の算出（細則4.（2）） ⇒ 年+0.1%を適用



(注) ③>①の場合には、④=①-②。

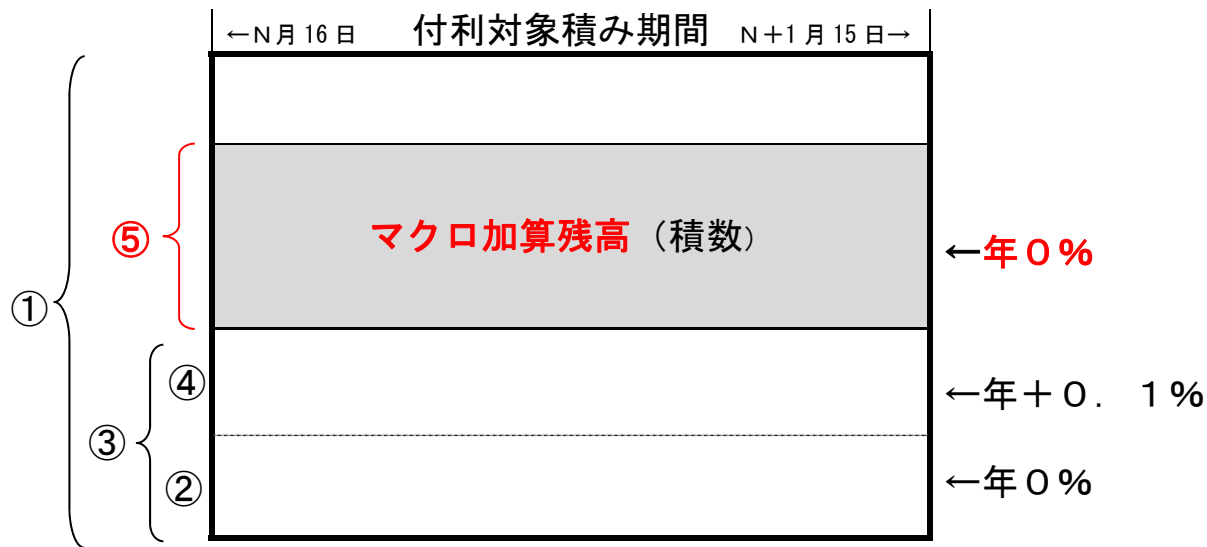
(算出方法)

★③=基準期間（2015年1月16日から2016年1月15日まで）における毎日の終業時の対象預金の残高の合計金額×付利対象積み期間の日数÷365

★④=③-②



【ステップ4】「マクロ加算残高（積数）」の算出（細則4.（3）） ⇒ 年0%を適用



(注1) ⑤の「マクロ加算残高」は、②の法定準備預金額を除く。  
 (注2) ③>①の場合には、⑤=0。③+⑤>①の場合には、⑤=①-③。

(算出方法)

★⑤=イ. +ロ. +ハ.

イ. ③×基準比率

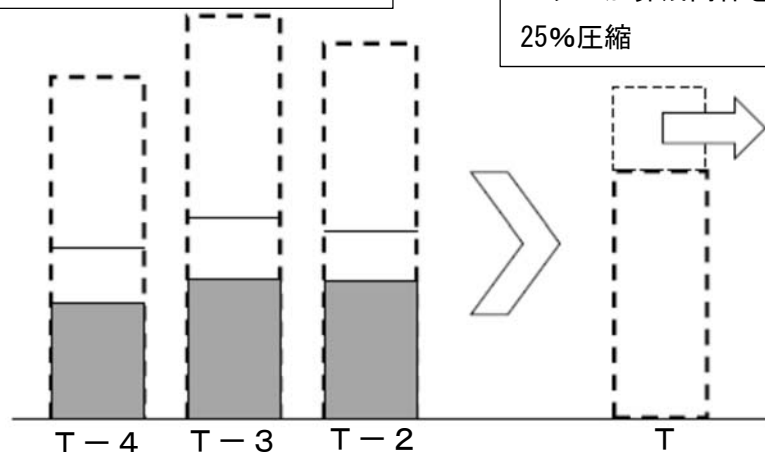
ロ. 付利対象積み期間における毎日の終業時の対象借入れ（細則4.（3）ロ.）の合計残高

ハ. (ロ. <新型コロナ対応金融支援特別オペ（制度融資分）を除く> - 2016年3月末における対象借入れ（細則4.（3）ハ.）の合計残高×付利対象積み期間の日数）×加算比率

(注3) 対象借入れは、成長基盤強化支援資金供給、貸出増加支援資金供給、新型コロナ対応金融支援特別オペ、被災地金融機関支援オペ、気候変動対応オペ。

(注4) MRF等特則適用先は、別途算出する金額を加算。

3積み期連続でマクロ加算残高枠の利用実績が50%未満

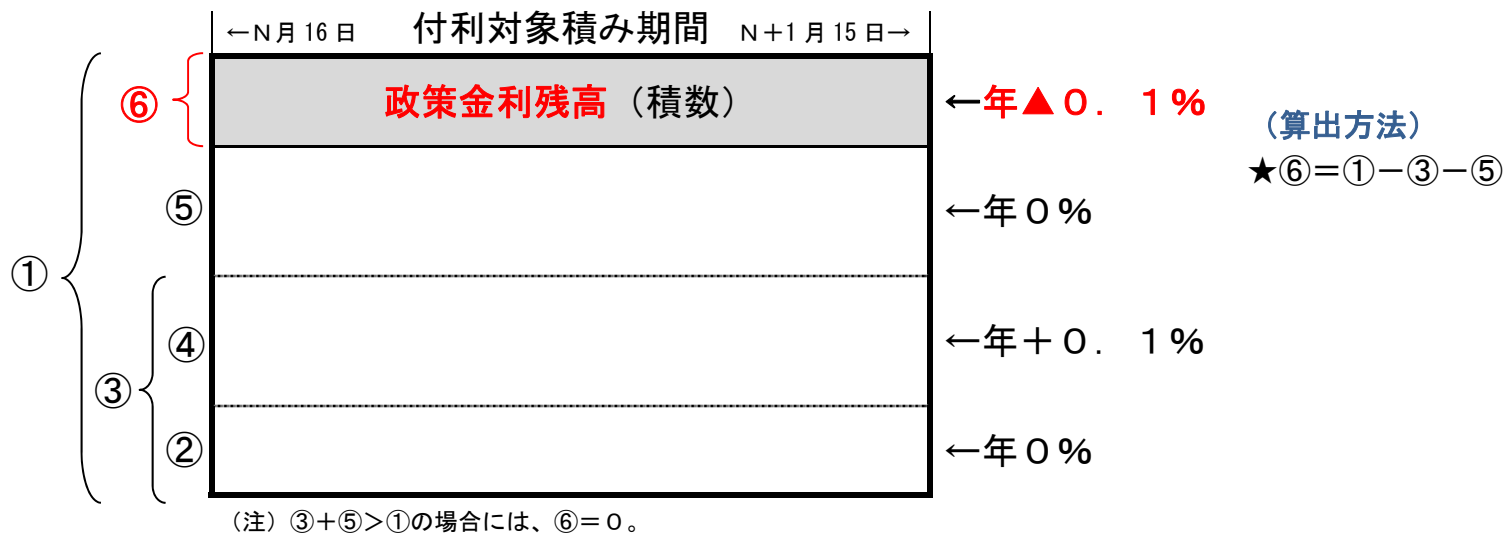


マクロ加算残高枠を25%圧縮

★ ただし、マクロ加算残高枠の利用実績が3積み期（T-4、T-3、T-2積み期）連続で50%未満の先は、T積み期のマクロ加算残高枠を25%圧縮

(注5) 「マクロ加算残高枠」は、当該積み期におけるイ. からハ. の合計金額（MRF等特則適用先は、別途算出する金額を加算）。

【ステップ5】「政策金利残高（積数）」の算出（細則4.（4）） ⇒ 年▲0.1%を適用



【ステップ6】利息の算出

$$\text{利息} = \left( \frac{\text{②} \times 0 (\%)}{365 \times 100} \right) + \left( \frac{\text{④} \times +0.1 (\%)}{365 \times 100} \right) + \left( \frac{\text{⑤} \times 0 (\%)}{365 \times 100} \right) + \left( \frac{\text{⑥} \times \blacktriangle 0.1 (\%)}{365 \times 100} \right)$$

(注) 上記の算出式において、それぞれの括弧内の計算ごとに、円位未満切捨とします。

以 上